

安曇野市特別職報酬等審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 安曇野市特別職報酬等審議会 |
| 2 | 日 時 | 平成29年7月20日 午前10時から午前11時30分まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市市役所本庁舎 4階 会議室403 |
| 4 | 出席者 | 齊藤会長、清澤会長代理、太内委員、岡村委員、木下委員、黒岩委員、
中野委員、長崎委員、馬場委員 |
| 5 | 市側出席者 | 宮澤市長、堀内総務部長、長崎職員課長、洞職員担当係長、白澤主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 2人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成29年7月31日 |

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (堀内総務部長)
- (2) 委嘱書の交付
- (3) あいさつ (宮澤安曇野市長)
- (4) 自己紹介
- (5) 会長の選出、会長代理の指名
- (6) 会長(齊藤委員)、会長代理(清澤委員) あいさつ
- (7) 市長から諮問
- (8) 議事
 - ① 議員報酬及び政務活動費の状況について
 - ② その他
- (9) 閉 会 (清澤会長代理)

2 審議概要

- (1) 議員報酬及び政務活動費の状況について(事務局より説明)

○議員報酬について

- ・国よりも県の報酬状況の資料提供をしてほしい。
- ・同規模都市の状況を見ると、安曇野市のように新設合併をしている都市はない。核となる自治体があり、その市の額を基本にしたといった歴史があるのではないか。
- ・生活給という部分で、民間給与の数字を教えてください。合せて、安曇野市の一般職員の給与と比較した場合に、現在の議員報酬の年額は何歳程度なのかを教えてください。
- ・現在、議員年金はなくなってしまっているが、人材不足の解消から必要ではないかという話もある。その辺の情勢について調べてほしい。
- ・地方自治法と関係で、議員の兼職の関係がどのようになっているのか。
- ・他の自治体は、国や人勸の改定に合わせて見直しをしている状況があるが、安曇野市はなぜ見直しをしてこなかったのか。
- ・要望のとおりただ上げればいいのか、同規模とすると比較して低いから同レベルまで引き上げればいいのか。そのような単純な話ではなく、報酬の改定がどの程度議員の環境整備に反映されるのか、実態がどうなのかを含めて、他市町村等の動向実態が分かったら教えてください。
- ・議会の活動状況で、定例会は105日から110日で、その他に公用として出る機会がどの程度あるのか。

○政務活動費について

- ・政務活動費の金額について、現状課題が出ているのか。
- ・政務活動費は会派での活動のみ使えるものなのか。また、会派内で了承を得れば、1人で全額使うこともできるのか。
- ・個人の調査研究費には使えないのか。
- ・実際にどのくらい支出していて、どのくらいの額が不足しているのか。全体像が把握できれば。
- ・視察、研修等の成果が確認できるものがないと、ただ使っただけになってしまう。議会として報告会を開く等、成果として公表する機会を作る考えはあるのか。
- ・駒ヶ根市、塩尻市は政務活動費の交付額がゼロだが、ゼロにしたことによるマイナス面があるか。県外の市で政務活動費を多く交付することによって非常に顕著な独自性を発揮して活性化しているような事例があるのか。

○その他

- ・確認だが、合併以来、理事者側からも議会側からも改定要求というか見直し論はなかったという理解でよいか。また、議員定数を削減した時点でも、全くなかったのか。
- ・若い議員にもっと報酬を、ということもあったが、議員定数の削減は何のために行うのか。削減された報酬分を福祉だとか他の部分に回すといった考え方もある。そのようなことも含め検討をお願いしたい。

→質疑や追加資料の要望については、次回の審議会までに提供させていただく。

【次回：平成29年8月21日（月）（時間については調整後、決定）】